

# 薩摩川内市 第1回RESASを活用した政策立案ワークショップ

現在の移住・定住支援策の分析と今後に向けて



令和3年8月11日

薩摩川内市役所

企画政策部企画政策課





# 目的とワークショップの流れ

## 1. 目的

本市の移住・定住施策を対象として、RESAS等を活用した分析を行い、2022年度の制度見直しに向けた具体的な政策の立案を行う。

2022年度に補助金改訂を予定している補助金は以下の3つである。

- 定住住宅取得補助金
- 定住住宅リフォーム補助金
- 新幹線通勤定期購入補助金

## 2. ワークショップの流れ

### ● 第1回目(8月11日開催)

- ①人口動態の現状と課題の把握
- ②海士町の人口政策の取組を参考に、人口政策の考え方の習得

### ● 第2回目(9月開催予定)

- ①移住・定住施策の提供データによる現状確認
- ②課題の深掘り
- ③課題に対して取り組むべき施策の検討

### ● 第3回目(11月開催予定)

成果発表会、意見交換会



# 薩摩川内市の概要

- 2004年10月、川内市、樋脇町、入来町、東郷町、祁答院町、里村、上甌村、下甌村、鹿島村が合併し、薩摩川内市誕生。県内で最大の面積を有する市であり、北薩地区の中心都市。
- 九州新幹線利用で博多へは最速70分弱、鹿児島中央へは12分とアクセス良好。

## 【企業】

京セラ株式会社鹿児島川内工場  
 中越パルプ工業株式会社川内工場  
 九州電力川内原子力発電所 等

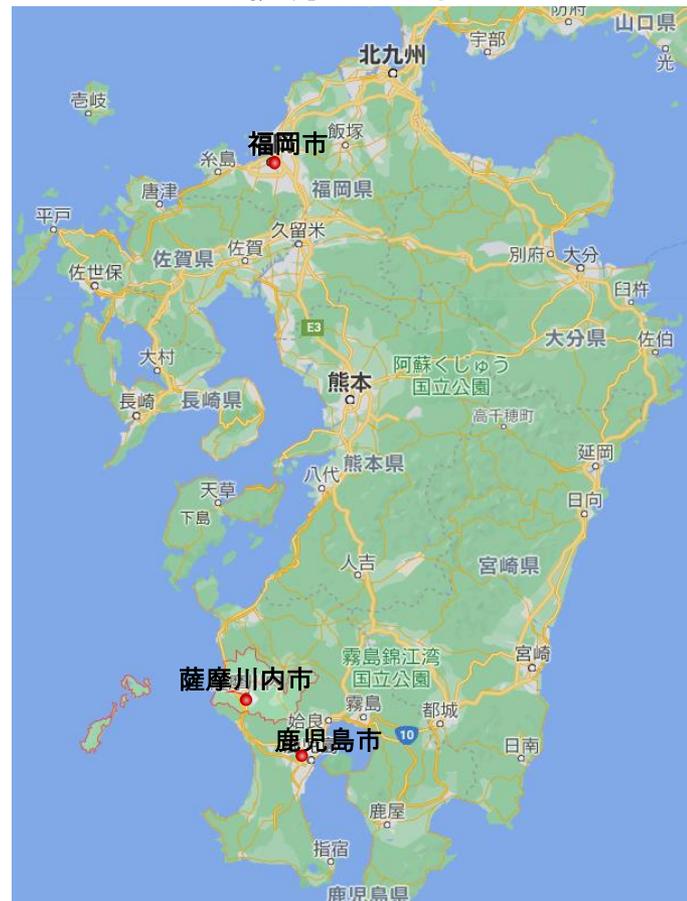
## 【行政機関】

川内税務署  
 鹿児島地方法務局川内支局  
 陸上自衛隊川内駐屯地  
 航空自衛隊下甌島分屯基地  
 北薩地域振興局  
 川薩保健所 等

## 【教育機関】

大学1校、専門学校等3校、高校4校、中学校10校、  
 小学校26校、幼稚園8園  
 義務教育学校 1校(小中一貫校)R3.4現在

＜薩摩川内市＞

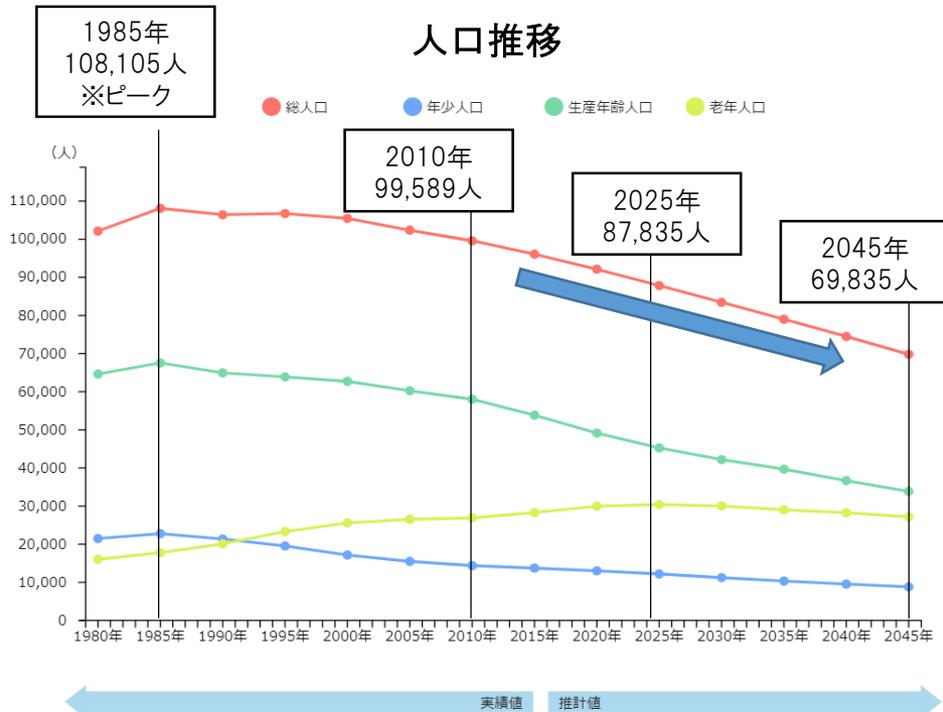




# 薩摩川内市の人口(1)

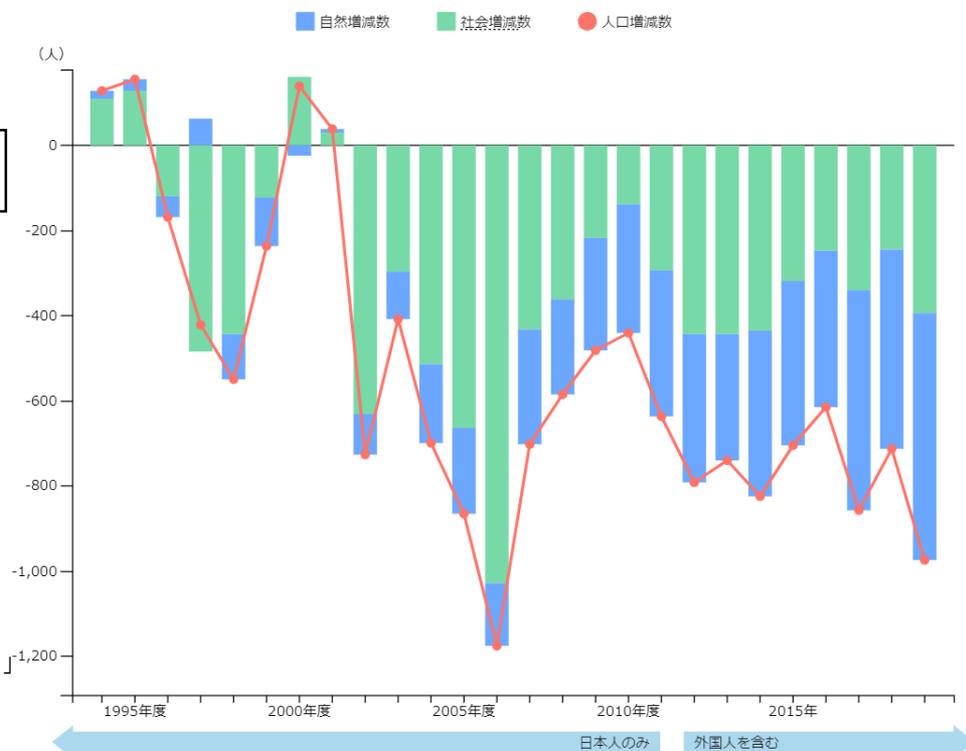
- 人口は一貫して右肩下がり、2010年に10万人を下回った。今後2025年に9万人を割り込み、2045年には7万人を割り込む見込み。
- 自然増減・社会増減の推移をみると、2002年以降は一貫して自然減・社会減が続いており、近年では自然減の割合が増加傾向。

## 人口推移



【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

## 自然増減・社会増減の推移



【出典】総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」再編加工

2000年以降人口は一貫して右肩下がり。  
老年人口は今後横ばいとなる見通しだが、  
年少人口・生産年齢人口の減少が続く。

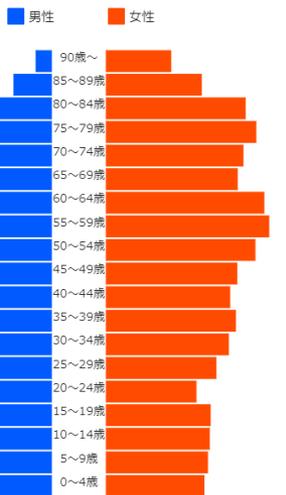


# 薩摩川内市の人口(2)

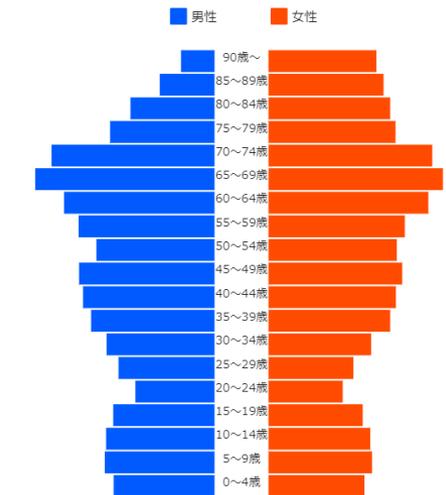
- 人口ピラミッドを見ると、10年間で年少人口は約10%減少しているが、生産年齢人口は約15%減少。なお、老年人口は団塊の世代が存在するため今後も横ばいで推移する見込み。
- 社会減の状況を見ると、30代以降は概ね均衡しているが、進学に伴い流出した若者が戻ってこないことが分かる。

## 人口ピラミッド

2010年



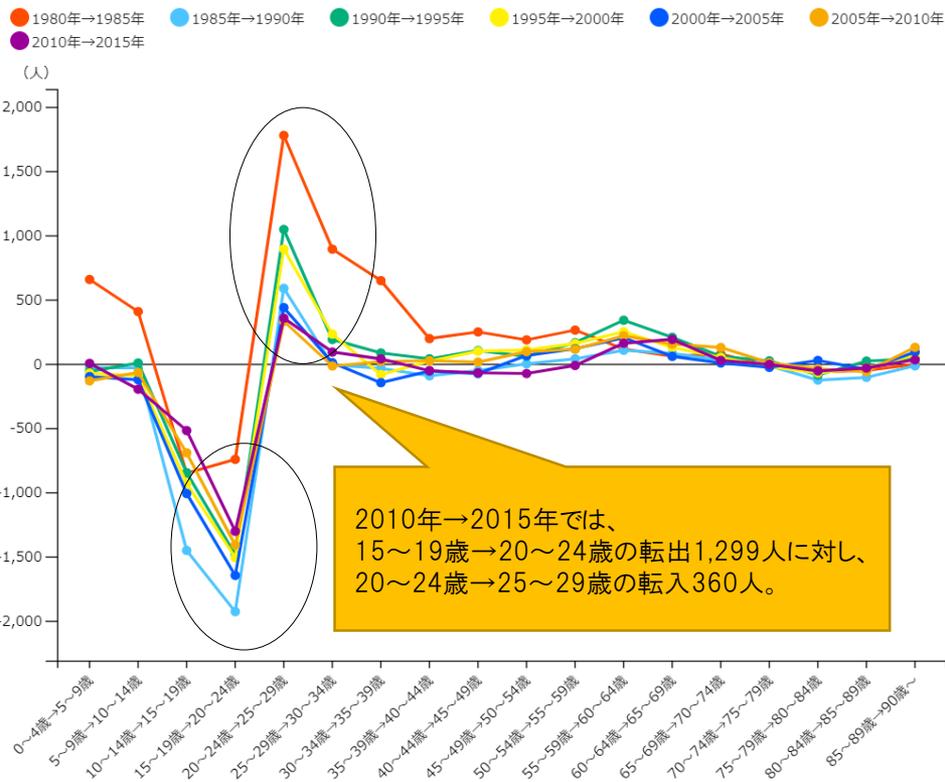
2020年



老年人口 (65歳以上) : 26,896人 (27.01%)  
 生産年齢人口 (15歳～64歳) : 58,030人 (58.27%)  
 年少人口 (0歳～14歳) : 14,382人 (14.44%)

老年人口 (65歳以上) : 29,966人 (32.52%)  
 生産年齢人口 (15歳～64歳) : 49,140人 (53.33%)  
 年少人口 (0歳～14歳) : 13,029人 (14.14%)

## 年齢階級別純移動数の時系列分析



【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

【出典】総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成

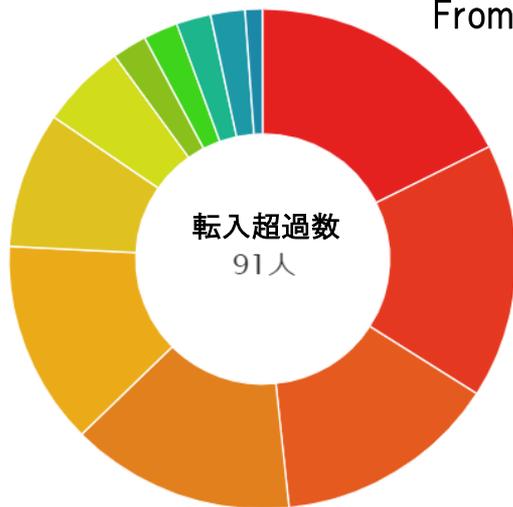


# 薩摩川内市の人口(3)

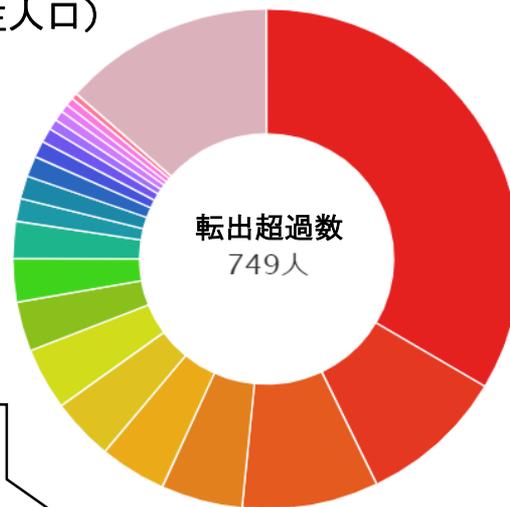
- 社会増減(転入超過・転出超過)の内訳は、鹿児島市や鹿児島市のベッドタウンである始良市への転出が4割超を占め、鹿児島市への就職・進学が主体と考えられる。
- 鹿児島市、始良市、福岡市が転出先トップ3である点については直近9年間変わらず。
- 佐賀県唐津市からの転入超過は、原子力発電所関係の従事者の転入が考えられる。

From-to分析(定住人口)

2019年



- 1位 佐賀県唐津市 16人 (17.58%)
- 2位 鹿児島県いちき串木野市 15人 (16.48%)
- 3位 鹿児島県指宿市 13人 (14.29%)
- 3位 長崎県佐世保市 13人 (14.29%)
- 5位 鹿児島県長島町 12人 (13.19%)
- 6位 鹿児島県西之表市 8人 (8.79%)
- 7位 広島県福山市 5人 (5.49%)
- 8位 鹿児島県奄美市 2人 (2.20%)
- 8位 鹿児島県阿久根市 2人 (2.20%)
- 8位 鹿児島県枕崎市 2人 (2.20%)



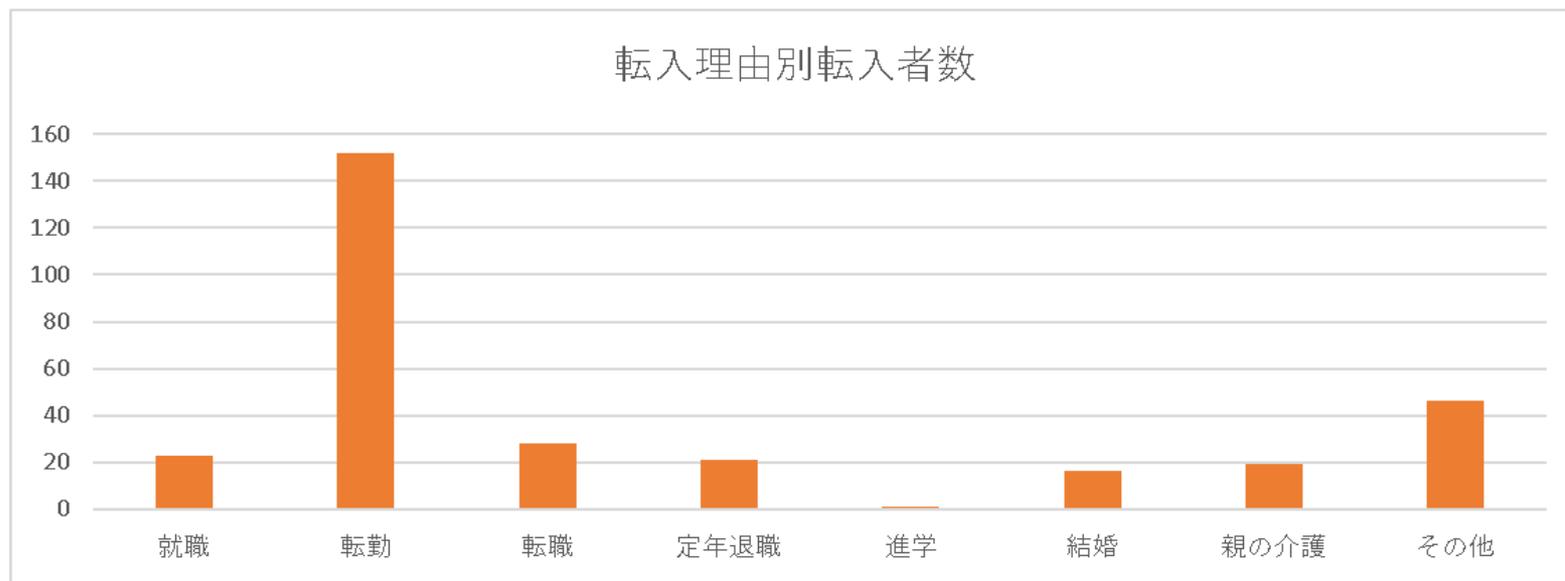
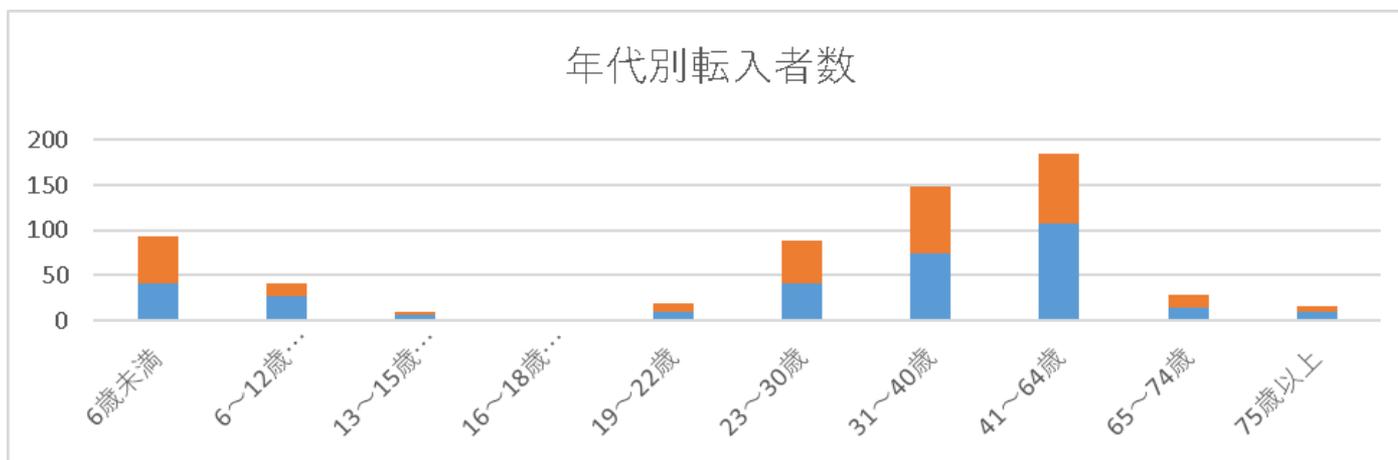
常にトップ3

- 1位 鹿児島県鹿児島市 251人 (33.51%)
- 2位 鹿児島県始良市 70人 (9.35%)
- 3位 福岡県福岡市 65人 (8.68%)
- 4位 鹿児島県曾於市 39人 (5.21%)
- 5位 鹿児島県出水市 32人 (4.27%)
- 6位 鹿児島県姦島市 30人 (4.01%)
- 6位 鹿児島県日置市 30人 (4.01%)
- 8位 鹿児島県鹿屋市 24人 (3.20%)
- 9位 福岡県北九州市 21人 (2.80%)
- 10位 神奈川県川崎市 18人 (2.40%)

【出典】総務省「住民基本台帳人口移動報告」

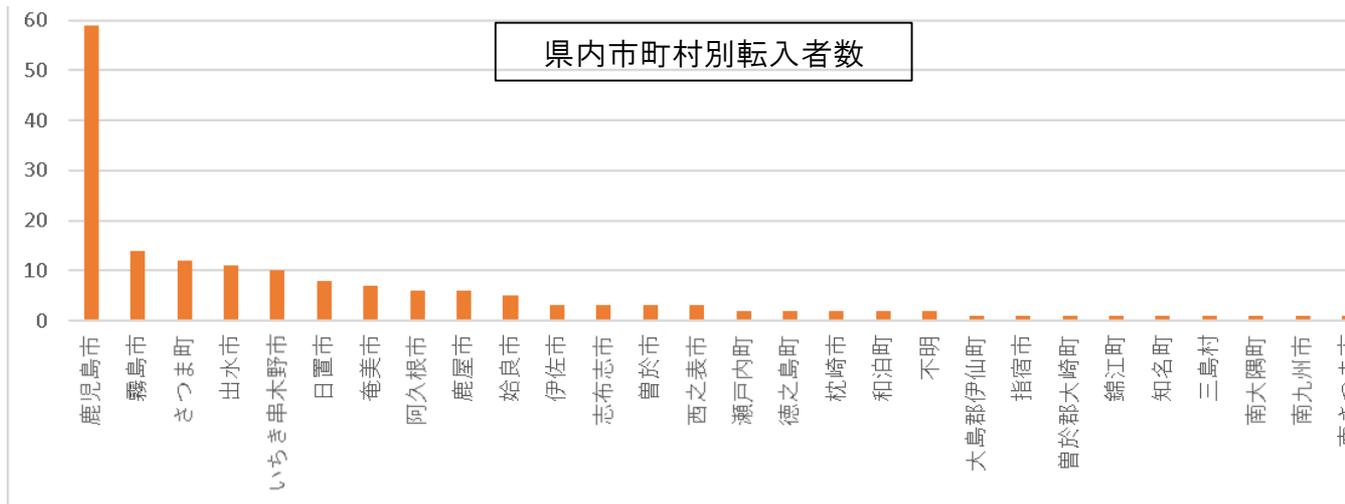
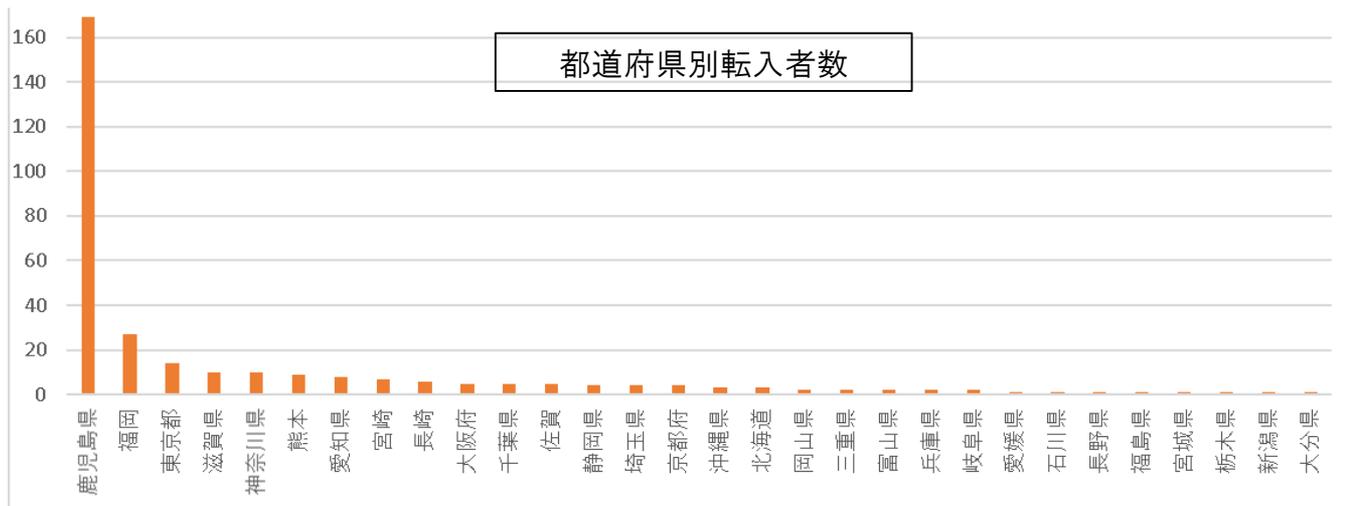
# 薩摩川内市の転入・転出調査結果(1)

- 年代別では、40～60代の転入数が最も多い。
- 転入理由は転勤が最も多い。



# 薩摩川内市の転入・転出調査結果(2)

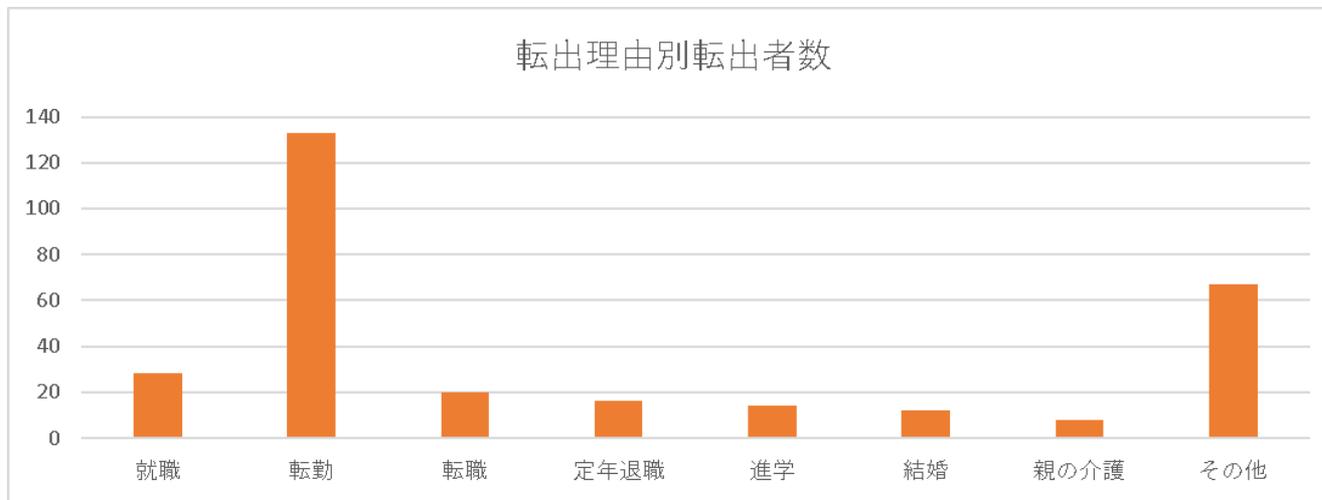
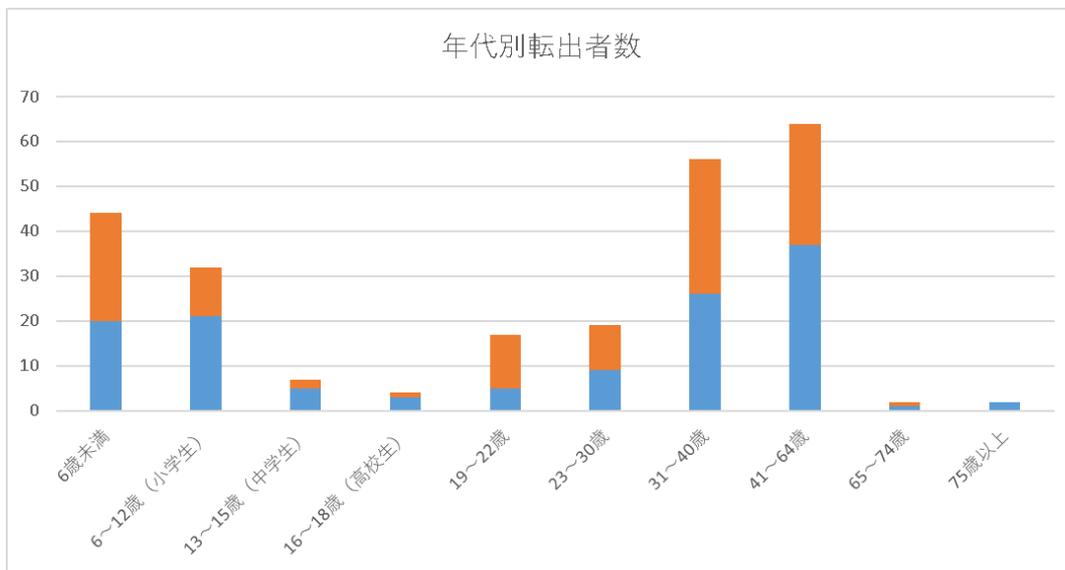
- 転入地域は都道府県別では鹿児島県、福岡県、東京都の順に多く、県内では、鹿児島市が最も多い。



【参照】市民課窓口でのアンケート結果(平成31年1月～3月)

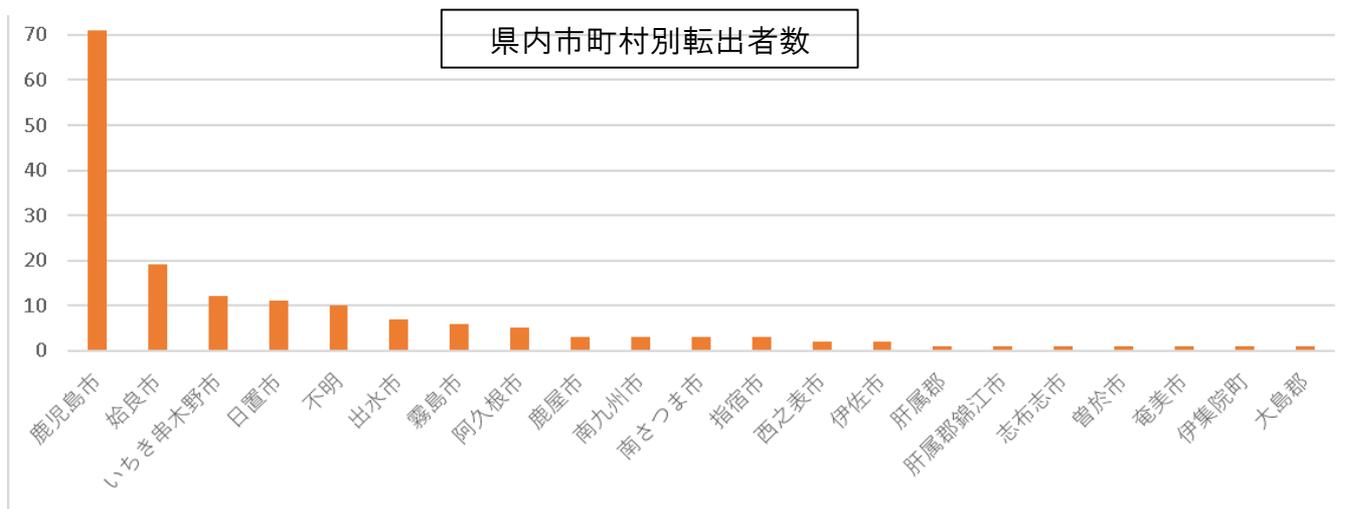
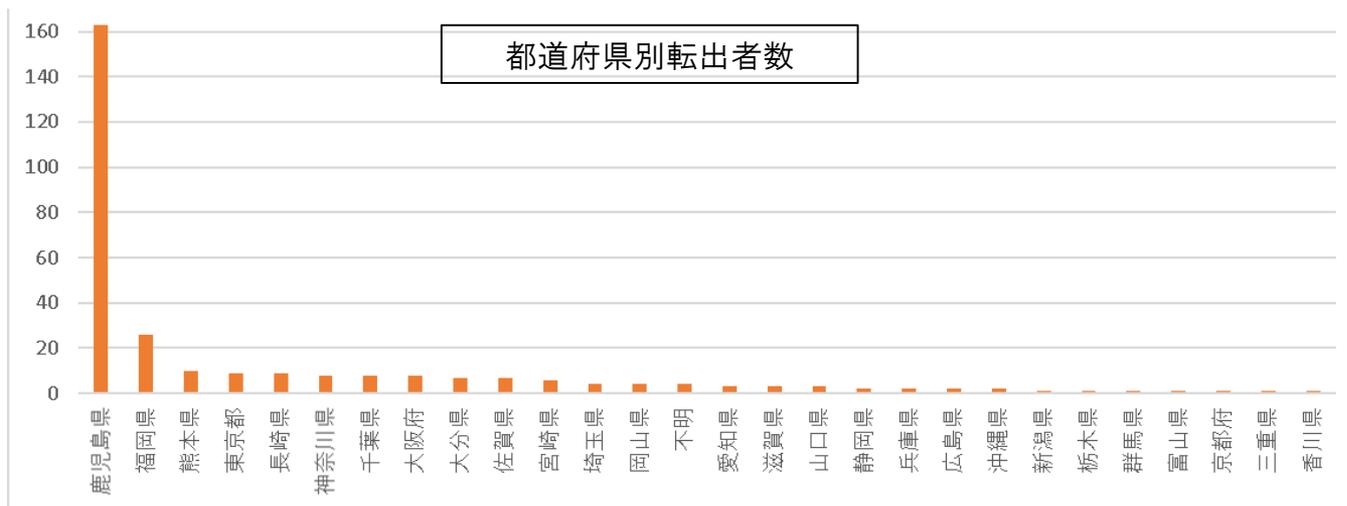
# 薩摩川内市の転入・転出調査結果(3)

- 年代別では、30代以上の転出数が最も多い。
- 転出理由は転勤が多い。



# 薩摩川内市の転入・転出調査結果(4)

- 転出地域は都道府県別では鹿児島県、福岡県、熊本県の順に多く、県内では、鹿児島市が最も多い。





# 薩摩川内市まち・ひと・しごと総合戦略

## 1. 基本目標

基本目標2「暮らしたいまち薩摩川内」では下記 のとおり明記されている。

少子化や若年層の域外への進学・就職に伴う人口減少が顕著なことから、地元企業や大学等との連携による人材創出、移定住の推進強化を図ることにより、若年層の流出を防ぎ、本市への転入を増加させます。

成果指標	現状値	目標値
転入者数 － 転出者数	△239人（H30）	△129人（R6）

## 2. 施策の方向性

①市民ぐるみによるシティセールスの推進と観光物産ビジネスの展開

◆市民と一体となったシティセールスプロモーションの充実

②快適な住環境と利便性の高い市街地の整備・保全

◆移住、定住の促進

③効果的かつ効率的な行政経営の推進

◆広域連携等の推進

## 1. 長期的展望

令和42年(2060年)の人口規模を68,890人と設定。

## 2. 合計特殊出生率

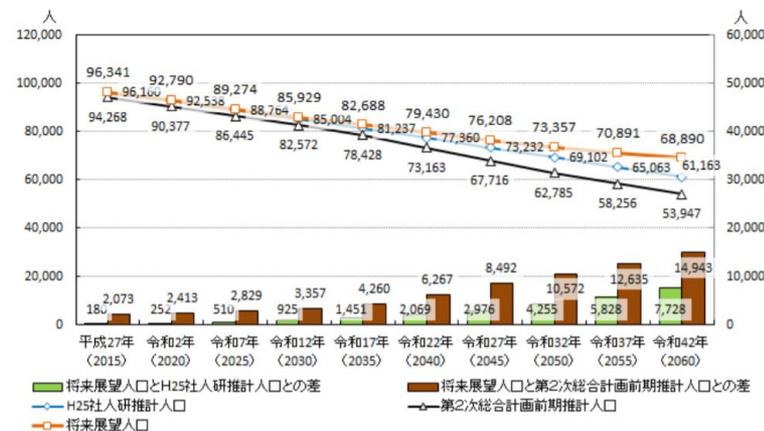
令和12年(2030年)に1.97、令和22年(2040年)に人口置換水準2.07を達成し、令和32年(2050年)に2.20を目指す。年間の出生数については、長期にわたって750人前後を維持。

## 3. 将来展望を実現するための戦略

① 雇用の創出等により若い世代の呼び込み・呼び戻し等対策により、20歳代等の雇用を増やし、進学・就職で転出していく人々を減少させることにより、転入・転出のプラスマイナスを0にする。

① 子どもを産み育てたい希望に応える施策等により、子育て世代が、安心して結婚・妊娠・出産・子育てをすることができる社会環境を実現し、転出超過の状況を改善し、令和22年(2040年)までには人口移動を半減させる。

図表28 将来展望人口と平成25年社人研推計人口、第2次総合計画前期推計人口の比較



令和2年10月時点の推計人口は  
92,079人と概ね展望人口どおり



# 薩摩川内市の移住促進策の分析

- 市の移住促進策について。

## ①定住住宅取得補助金

住宅を新築または購入された転入者に、補助金を支給するもの  
支給額はエリアによって異なる(20万～150万円、過疎地域ほど手厚く支援)  
土地代は支援の対象外

## ②定住住宅リフォーム補助金

住宅をリフォームされた転入者に、補助金を支給するもの  
支給額はエリアによって異なる(70万～100万円、過疎地域ほど手厚く支援)

※中心市街地には対象外エリアあり

リフォーム代金は30万円以上且つ補助はリフォーム代金の50%

①②ともに施工業者は市内業者、自治体加入、5年以上の居住が条件

## ③新幹線通勤定期購入補助金

新幹線で通勤される転入者に、最大3年間、補助金を支給  
川内駅発着で、支給額は下表のとおり

主要駅	補助額
鹿児島中央駅、出水駅、新水俣駅、新八代駅	1万円
熊本駅、新玉名駅、新大牟田駅、筑後船小屋駅	1万5千円
久留米駅、新鳥栖駅、博多駅	2万円



# 薩摩川内市の移住・定住促進策(1)

- ・ 今回重点的に検討したい支援制度は下記の6種類である。
- ・ その他、市の全ての制度は2枚目以降に記載。

補助制度名称	概要	対象
定住住宅取得補助金（市）	転入者が市内業者にて家を新築・購入したとき、最高150万円の補助	転入者
定住住宅リフォーム補助金（市）	転入者が市内業者にて家をリフォームしたとき、最高100万円の補助	転入者
新幹線通勤定期購入補助金（市）	新幹線で通勤される転入者に、最大3年間、補助金を支給	転入者
結婚新生活支援補助金（市）	新婚世帯に新生活のスタートアップに係る新居の住居費、引越費用を補助	市民
UIターン者家賃等補助金（市）	転入者が市内の中小企業にて正規雇用された場合家賃の補助を行う（月額上限額2万円）※その他要件あり	転入者
若者等就労支援（市）【終】 （R3.2月末で廃止だが、猶予期間があるため現在も申請可能）	新卒者、UIターン者の市内就労促進を支援するため、市内事業所に就職した者に奨励金を交付する（本土：10万円/1回のみ、甕島年間10万円を3年間支給）	市民



# 薩摩川内市の移住・定住促進策(2)

補助制度名称	概要	対象
地域移定住促進事業補助金（市）	地域コミュニティ、団体で移住者向けの建物の整備を行うとき、最高300万円を補助	市民
空き家バンク成約奨励金（市）	転入者が空き家バンクを利用して賃貸、売買契約を結んだとき、最高30万円を補助	転入者
市有地売却、宅地分譲（市）	市有地の売却や、定住促進のための宅地分譲	市民
市営住宅（市）	住宅に困っている方等に、住宅を提供する（条件等あるため要確認）	市民
小型合併処理浄化槽設置整備事業補助金（市）	専用住宅に、小型合併処理浄化槽を設置する方へ、予算の範囲内で補助金を交付（例：新築で5人槽を設置で166,000円補助）	市民
地球にやさしい環境整備事業（市）	「住宅用太陽光発電設備」、「蓄電システム」、「ZEH」に対して条件を満たした場合それぞれ補助	市民
求人情報提供（市）	「ハローワーク別求人情報」を提供、また、「さつませんだい仕事.com」では薩摩川内市の企業とのマッチングを行っている	市民
新規就農者支援金補助金（市）	薩摩川内市農業公社の研修を受けている方に対して、研修期間中の生活支援を行う。また、新規就農者へ生活費の支援を行う（最高年額150万円。ただし夫婦で就農する場合は、夫婦で最高年額225万円）	市民
産地農業後継者支援事業補助金（市）	市の農業の後継者となる農業者に対して経営支援を行う（事業年度において55歳以下、または認定新規就農者等）	市民
中小企業等人材確保支援補助金（市）	中小企業等の人材確保と新卒者、UIターン者の市内中小企業への就職を促進するため企業へ補助を行う（上限50万円/1回限り）	事業者



# 薩摩川内市の移住・定住促進策(3)

補助制度名称	概要	対象
中心市街地出店支援補助金（市）	中心市街地の空き店舗で開業する事業者に対し、店舗の整備に係る経費の一部を補助する（上限50万円/1回限り）	事業者
創業・チャレンジ支援補助金（市）	新たに起業される方、事業の拡大や事業承継を希望される中小企業者向けに融資を行う（要件等は要確認）	事業者
令和3年度薩摩川内市創業支援事業補助金（市）	市内で創業を志す者等が創業しやすい環境を整備するため、創業に係る費用の一部を支援する（上限100万円）	事業者
中小企業等産学共同開発支援補助金（市）	市内中小企業等が、大学又は公設研究機関等と連携して取り組む新たな製品開発等を支援する（竹バイオマス関連上限50万円、その他上限30万円）	事業者
店舗改装費補助（市）	市内で生産・販売を行っている中小企業者が、店舗・事業所・工場などを改修した場合補助を行う（上限20万円/1回限り）	事業者
不妊・不育治療費助成（市）	不妊・不育治療を受けている夫婦の治療費等の一部を助成する（1年度あたりの上限/不妊：20万円、不育：10万円）	市民
薩摩川内市子育て応援券（市）	令和3年4月2日以降に生まれた市内の子どもの対象に、買い物などに利用できる商品券を支給（第一子1万円、第二子3万円、第三子以降5万円）	市民
産後ケア事業（市）	産後1年以内の保護者へ産後のケアのために利用できる応援券を受け取れる（10,000円分）	市民
子ども医療費助成（市）	薩摩川内市に住所があり、0歳から高校修了年齢までの子どもの医療費の一部を助成する	市民
乳幼児健康診査助成（市）	3ヶ月～4歳未満までの各年齢ごとの健診を無料で受診できる	市民



# 薩摩川内市の移住・定住促進策(4)

補助制度名称	概要	対象
定期予防接種（市）	必要な定期予防接種を無料で受けられる	市民
病児・病後児保育事業（市）	子どもの病気や、病後の回復期に一時的に預かり保育をおこなう制度（R3では市内2箇所と企業型3箇所あり）	市民
保育料助成（市）	第一子を基準額とし、第二子半額、第三子以降が無料となる	市民
ファミリー・サポート・センター（市）	子育てのお手伝いをしてほしい方と手伝いをしたい方が登録をし、助け合う有償ボランティアの仕組み	市民
かごしま子育て支援パスポート（市）	かごしま子育て支援パスポート（市）	市民
放課後児童クラブ（市）	保護者の就労等に対応し、授業の終了後等に児童へ遊びや生活の場を与えるため児童クラブを設置している	市民
給付型奨学金（市）	向学心が強く学業が優秀であるにもかかわらず、経済的理由により高等学校への修学が困難である者に対し、奨学資金を支給するもの（月額15,000円）	市民
就学定住支援（市）	市の若者たちの「市内の大学等への就学」「市内の企業への就職」を支援するため入学金の半額、就職時に残りの半額を補助する	市民
薩摩川内市奨学金返還支援補助金（市）	市内就労と定住を促進するため、奨学金の返還を補助する（年間補助上限20万円、補助総額上限200万円まで）	市民
妊婦・産婦健診補助（市）	母子健康手帳の交付を受けた妊産婦の方へ、妊婦健康診査を14回、産婦健康診査を2回まで助成する	市民